

# バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

## Interview ①

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社  
政策研究事業本部 研究開発第2部

仲嶋 翼



出身大学・卒業年度：大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報工学専攻 2014年度 博士後期課程修了  
博士論文タイトル：シアノバクテリアの代謝フラックス解析法の開発と異なる栄養条件における*Synechocystis* sp. PCC 6803の代謝解析

### 「現在の仕事について」

#### ◆担当職務

入社以来、以下のような仕事に取り組んでいます。

【①受託業務】官公庁や民間企業より受託した調査などを実施し、納品します。私の場合、分野は環境分野や産業振興、科学・技術分野が多くなっています。

【②自主調査】投資活動として、将来重要になる分野について自主的に調査研究などの活動を行います。

【③パブリシティ活動】対外発信用のレポートや書籍の執筆を行います（研究員・コンサルタントによっては、ラジオやTV番組への出演もあります）。

#### ◆そこでのやりがい

自分の専門性を培いながら業務を実施していきます。シンクタンク業界は、会社員でありながら積極的に個人の名前で活動をするというのが特徴的で、やりがいにもつながっています。

#### ◆現在の就職（民間シンクタンク）を決めた理由

社会のデザインに関わるような仕事に携わりたかったため。また、私は目先にクライアントがいる仕事の方が、力を発揮できるタイプだと思ったため。

#### ◆現在の会社の魅力

各研究員がそれぞれ専門分野を持っており、年齢によらず互いを専門家として尊重する風土を感じたからです。また、各自が実現したいことを周りが応援し合うという雰囲気も感じています。

#### ◆将来設計・挑戦したいと思っていること

バイオ分野をはじめとする科学・技術の振興に向けて、必要な社会システムのデザインに関わりたいと思っています。また、行政、ビジネスプレーヤー、研究者の間をつなぎ、技術の社会実装を加速できるような役目を果たすことに挑戦したいです。

#### ◆社会人として一番感動したこと

月並みですが、お客さまから「仕事を頼んで良かった」と言われることは、働いていて良かったと思う瞬間です。

#### ◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

ビジネスとしての調査研究をするということに難しさを感じています。

業務では、社会課題の解決のための調査研究などに携わります。自身の問題意識や関心が高いテーマだと、つい時間をかけて突き詰めたくになりますが、あくまでビジネスとして業務に取り組む以上、自身の投入時間はコストになりますし、労務管理上の制約も生じます。それらの制約の範囲内で納得のいくアウトプットを出すことに、難しさを感じています。

社会では今何が求められているか、目先のお客さまほどの水準を求めているかという「アウトプット水準の見積もりの精度向上」と、必要なアウトプットを少ないインプットで出す「生産性の向上」を意識するようにしています。

#### ◆博士力、どこで発揮していますか？

どんな仕事でも、自分のオリジナリティを出そうと心がけています。この意識が根付いたのは、博士課程で過ごした時間があったからだと思っています。

#### ◆仕事のプロになるコツ

自分の仕事について、自分自身でその価値を守れるようになることがプロなのかと思っています。

### 「人生について」

#### ◆何のために働くのですか？

おもしろい仕事をするため。わくわくしながら人生を過ごしたいから。

### ◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

良い仕事をしたら、その分の金銭的な報酬は後からついてくるのだと思って頑張っています。

### ◆ワークライフバランスで工夫していること

明日できることは今日しない。

### ◆現在の夢・将来の展望

私は博士課程に進んだことで、社会経験では同年代と比べて周回遅れです。仕事以外にも夢・目標があった方が良くかもしれませんが、まずは仕事で、自分がしたいことが実現できるようになりたいと思います。

## 「後輩へ」

### ◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること

【研究】研究活動です。研究に、自分なりの視点を持って精一杯取り組めば、どのような仕事に就いても力を発揮できるようになると思います。普通の大学院生にとって、身の回りの活動の中でもっとも最先端で特別な経験ができる場所は、なにより研究です。まずは、研究に打

ち込むことが良いのではないのでしょうか（私自身の過ごし方への反省も込めて）。

海外との協働に取り組む、コミュニケーション力をつける、新企画を考えたい、マーケティングに興味があるとといった方もいらっしゃるかもしれません。その場合でも、それを大学の研究活動を通して実現するという意識を持てば良いのではないかと思います。学生だったとしても、とことんやれば、思っている以上の展開につながることもあるはずですよ。

【趣味】ストレスを発散できる趣味を見つけておくことは、非常に重要です！

### ◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

警戒されずに色々な企業の方から話を聞ける、というだけでも学生はメリットがあります。進路を考えられる方は、ぜひ多くの方からお話を聞いてみてください。

連絡先 E-mail: tsubasa.nakajima@murc.jp

## Interview ②

岡山理科大学工学部生命医療工学科（准教授）

二見 翠



出身大学・卒業年度：岡山大学自然科学研究科生体機能科学専攻 2005年3月 博士（工学）学位取得  
博士論文タイトル：動物細胞に対する効率的蛋白質導入技術の開発

## 「現在の仕事について」

### ◆担当職務

岡山理科大学にて、研究と教育を行っています。

### ◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

・2006年4月～2007年2月

出身研究室にて当時走っていた NEDO プロジェクト「細胞内ネットワークのダイナミズム解析技術開発/カチオン化法によるタンパク質プローブ生細胞導入技術の開発」にポスドクとして参加させていただきました。

・2007年4月～2009年3月

岡山大学の工学系と医学系の研究者グループで申請して採択された、科学技術振興調整費『先端融合領域イノベーション創出拠点の形成』プログラムにポスドクとして参加させていただきました。

・2010年4月～

現所属の岡山理科大学に着任し、タンパク質を使った医療技術の開発についての研究を行っています。

### ◆そこでのやりがい

現職に就くまでの2度のポスドクは、両方ともプロジェクト研究員という位置づけだったことから、限られた時間の中で着実に結果を出していくという経験を初めてさせていただきました。特に後半に取り組んだ研究はほぼスタートアップだった状態にもかかわらず、非常に速い結果を求められていたため、結果を出すために関係研究者とたくさんディスカッションをさせていただきました。頂いた他分野の方からのご意見は非常に新鮮かつ刺激的で、また十分なディスカッションをするための自分の勉強と事前考察も、その後の研究に大きく影響を与えたなと感じています。

### ◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

現在の組織は医療に関わる工学技術を全部かき集めたような学科になります。それだけに教育内容や他の教員の研究はこれまで一切触れあうようなことのなかったものが多いのですが、新しい出会いとして受け入れて、自分のものと融合して研究を新しい方向に発展させていくこ

とができると考えています。

#### ◆現在の就職を決めた理由

アカデミアに進みたいということは、かなり小さなころから考えていました。研究者だった父親が面白いと思うことを生き生きと話してくれる姿を見て、私も自分が面白いと思える仕事に就きたいと思ったことが最初のきっかけかと思います。

#### ◆将来設計（描けるキャリアパス）

このままアカデミアでの活動を続けていきたいと考えています。

#### ◆挑戦したいと思っていること

医療機器の材料開発に研究をシフトさせていくこと。

#### ◆社会人として一番感動したこと

先日、研究室を主宰する教授先生の退官に伴うささやかな会を開いたところ、たくさんの卒業生が駆けつけてくれました。いろんな思いを抱きながら指導した学生が社会人として立派に働いている話をたくさん聞くことができ、胸が熱くなりました。

#### ◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

地方の私立大学というポジションは研究の発展を求められる一方で、比較的強く教育の充実を求められているように感じています。また、大学院に進学する学生も多くありません。そんな中で、如何にして研究成果を出していくのか、というのは現状続く悩みです。卒業研究の短い期間の積み重ねで成果を出せるよう、研究テーマを絞ってそれを細分化して卒業研究とすることで、ある程度結果を蓄積できるようになってきました。またそれによって次の学生により研究の魅力を伝えやすくなりました。学生を責任もって教育するような立場になってまだ短いのですが、精神的に不安定で心に問題を抱えた学生に何人か出会い、どのように接したら良いのか非常に悩みました。とにかく自分だけで抱えずに、相談できる人・部署に相談することが大事だと思っています。

#### ◆仕事のプロになるコツ

仕事が発生したら、つべこべ言わずに向き合って成し遂げること。

#### ◆博士力、どこで発揮していますか？

専門分野ではない領域の勉強方法や情報収集、面白さを自分なりに見つけて引き出すところかなと思います。

### 「人生について」

#### ◆何のために働くのですか？

基本的にやりたいこと＝今の仕事だったので、あまりこ

れといった理由はありませんが、あえて言うなら家族？

#### ◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

頂くお金に見合った仕事結果を周りに提供するということでしょうか。

#### ◆ワークライフバランスで工夫していること

実は3人の子供が居て、主人も同業者です。幸い同じ県で夫婦ともに常勤職を得られたので、その結果家事や育児をかなり主人に手伝ってもらって、今の生活が成り立っています。それでもやっぱり子供が病気になると仕事を休むこともあります。助けていただいている家族だけでなく、同僚の方々にも日々感謝をしつつ、仕事ではできることを率先して担当させていただこうと心がけています。

#### ◆現在の夢

自分の研究を社会や科学技術の発展に貢献できるものになりたい、ということでしょうか。あと、私の指導する学生が研究に対する興味を抱いて、研究の分野に進む日が来ると良いなと思っています。

#### ◆将来の展望

正直今が精いっぱい、先のことは見通せていません。今できることを頑張るしかないと思っています。

### 「後輩へ」

#### ◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること

もっと海外に出ておけばよかったと思ったりします。ただ、博士課程では共同研究の関係で、企業の研究所で2年間研究を行うことができました。大学とは違う研究の取り組み方、周りの方との付き合い方、たくさんの良い刺激を受けました。海外に出る機会が得られにくい環境でしたが、それに代わる良い経験が得られたと思っていますので、そこに後悔はありません。所属を変えるということは当然しんどいことも多いのですが、必ず新しい世界を開くことができます。機会があれば積極的に所属研究室から飛び出してみると良いと思います。

#### ◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

先のことを考えると思い切った一歩を踏み出せないことがあると思います。でも時には踏み出してみたら考えるということがあっても良いと思います。もしかしたら「無計画」といわれるかもしれないけれど、そうしないと得られないものもあると思います。特に出産については大きくあてはまるとしています。ただし、周りへの配慮やフォローは忘れずに……。

連絡先 E-mail: mfutami@bme.ous.ac.jp